

**2021年12月期(FY2021)
第1四半期(1-3月)
連結決算報告**



大幸薬品

**2021年5月
大幸薬品株式会社**



決算期変更による調整について

- 前期(2020年12月期)は決算期変更に伴う経過期間のため、変則決算となっております。
- そのため、当期と同一期間となるよう組み替えた数値を『調整後数値』として記載しております。

財務報告数値

	2020年		2021年	
	1-3月	4-6月	1-3月	4-6月
国内法人	/	FY20	FY21	
海外法人				

調整後数値

	2020年		2021年	
	1-3月	4-6月	1-3月	4-6月
国内法人	FY20		FY21	
海外法人				

※調整後数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報

連結經營成績

連結経営成績

- 感染管理事業は、需要減少により前年同期比で減収
- 販管費は前年同期を下回るも、当四半期は営業損失を計上

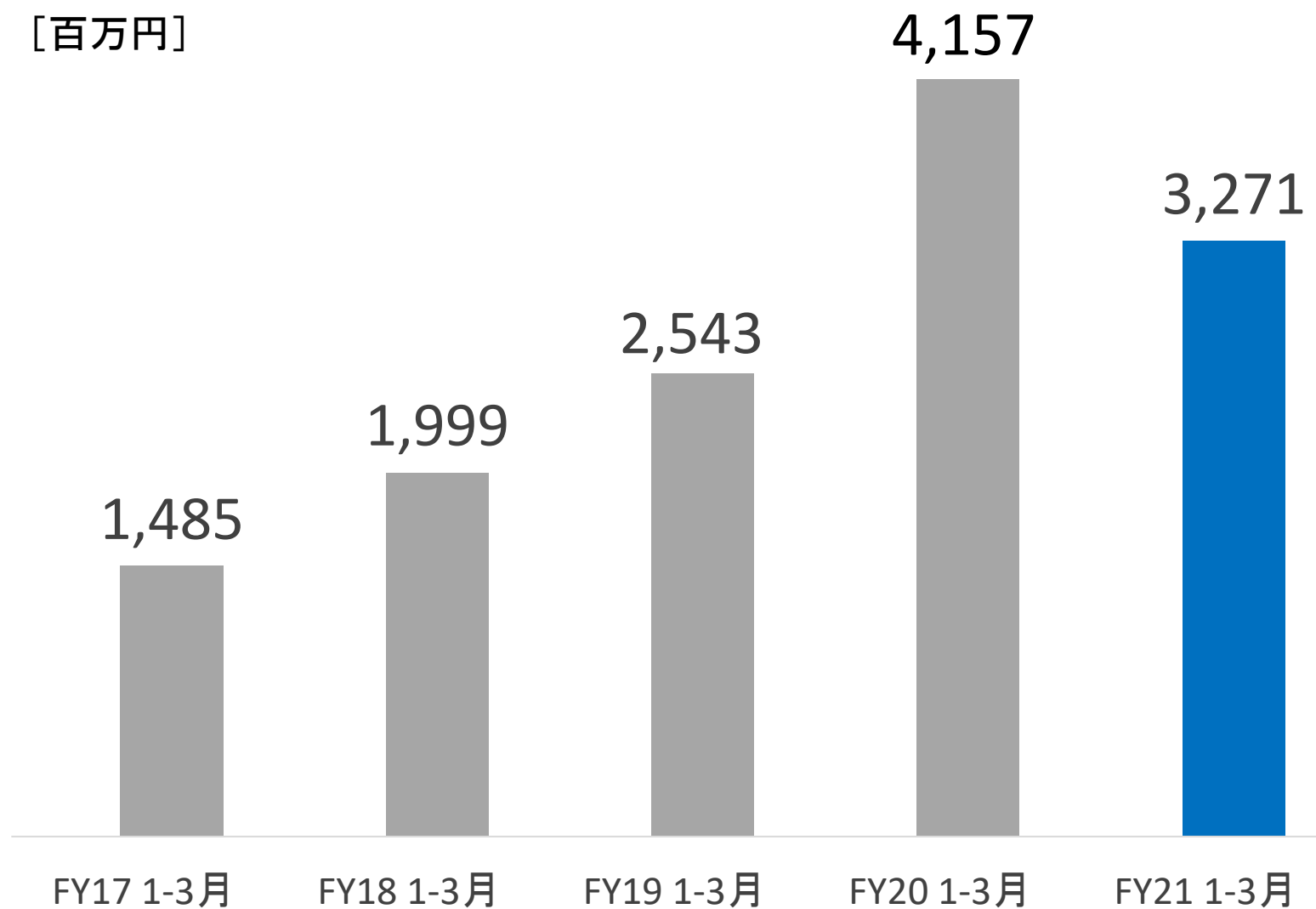
[百万円]

	FY20	FY21	調整後前期比		調整後前期比 増減要因等
	調整後前期 1Q累計	当期 1Q累計	増減	増減率	
売上高	4,157	3,271	△886	△21.3%	医薬) +48、感染) △934
売上原価(※) (売上高比率)	1,266 30.5%	1,264 38.7%	△1	△0.1%	
売上総利益 (売上高比率)	2,891 69.5%	2,006 61.3%	△885	△30.6%	感染管理事業の売上減少に伴う 利益額の減少
販管費 (売上高比率)	2,321 55.8%	2,197 67.2%	△124	△5.4%	
営業利益 (売上高比率)	569 13.7%	△190 △5.8%	△760	—	
経常利益 (売上高比率)	517 12.4%	△232 △7.1%	△750	—	
当期純利益 (売上高比率)	275 6.6%	△147 △4.5%	△422	—	

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移

[百万円]



※各期を1-3月で集計

販売費及び一般管理費

● 販売促進費や支払手数料等の減少により販管費は減少

[百万円]

	FY20		FY21		調整後前期比	
	調整後前期 金額	1Q累計 売上比	当期 金額	1Q累計 売上比	増減	増減率
販売費	1,268	30.5%	1,217	37.2%	△50	△4.0%
広告宣伝費	710	17.1%	763	23.3%	52	7.4%
販売促進費	441	10.6%	227	6.9%	△214	△48.5%
運送費	116	2.8%	227	6.9%	110	95.4%
人件費	525	12.6%	514	15.7%	△11	△2.1%
その他経費	528	12.7%	465	14.2%	△63	△11.9%
研究開発費	126	3.0%	122	3.8%	△3	△2.8%
支払手数料	208	5.0%	163	5.0%	△45	△21.7%
計	2,321	55.8%	2,197	67.2%	△124	△5.4%

連結財政状態

[百万円]	FY20 期末	FY21 1Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	19,822	16,128	△3,693	△18.6%	
現金及び預金	4,944	4,706	△238	△4.8%	
売上債権	7,918	3,279	△4,639	△58.6%	債権の回収により減少
たな卸資産	6,408	7,568	1,160	18.1%	感染管理製品が増加
固定資産	11,935	12,481	545	4.6%	主に京都工場における医薬生産設備 (建設仮勘定)の増加
資産合計	31,757	28,609	△3,148	△9.9%	
流動負債	7,487	5,165	△2,321	△31.0%	
仕入債務	2,928	1,508	△1,420	△48.5%	生産調整(減産)によって仕入債務は減少
固定負債	1,488	1,498	9	0.7%	
純資産	22,781	21,944	△836	△3.7%	四半期純損失の計上、期末配当等
負債純資産合計	31,757	28,609	△3,148	△9.9%	
自己資本比率	71.7%	76.7%			

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業: 海外向けの増収、国内の広告宣伝費減少等により増益
- 感染管理事業: 前年同期比で需要減少により減収減益

[百万円]

	売上高			セグメント損益		
	FY20 調整後前期 1Q累計	FY21 当期 1Q累計	増減率	FY20 調整後前期 1Q累計	FY21 当期 1Q累計	増減率
医薬品事業 (利益率)	852	900	5.7%	△ 8 △ 1.0%	287 31.9%	—
感染管理事業 (利益率)	3,303	2,368	△28.3%	953 28.9%	△97 △ 4.1%	—
その他事業 (利益率)	1	1	△7.1%	△14 —	△7 —	—
全社(※)	—	—	—	△361	△372	—
連結合計 (利益率)	4,157	3,271	△21.3%	569 13.7%	△ 190 △ 5.8%	—

(※) 全社に係るコスト(主に管理部門コスト)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 前期に引き続き、消費者の外出自粛やインバウンド需要消失の影響を受け低調に推移

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY20 調整後前期 1Q累計	FY21 当期 1Q累計	増減	増減率
正露丸	266	227	△38	△14.5%
セイロガン糖衣A	396	342	△53	△13.4%
正露丸クイックC	14	13	△1	△12.0%
その他(※)	13	13	0	△1.1%
計	690	596	△93	△13.6%

(※) 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」等



正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ピシヤット下痢止めOD錠

当社の国内止瀉薬市場シェア

[店頭小売価格ベース]

	FY20	FY21	増減
止瀉薬市場シェア	48.3%	47.9%	△0.4P

出所：(株)インテージ

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 国内と同様、消費者の外出自粛等の影響を受け低調に推移
- 中国向けの出荷タイミングが早まったことから前年同期比で増収

地域別売上高

[百万円]

	FY20 調整後前期 1Q累計	FY21 当期 1Q累計	増減	増減率
中国	—	145	145	—
香港	89	39	△49	△55.9%
台湾	72	111	38	53.9%
その他(※)	—	7	7	—
計	161	303	142	88.0%



正露丸



セイロガン糖衣A

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 消費者の衛生管理意識は高水準も、前年同期に比べ市場の需要は減少
- 除菌関連製品の流通在庫も多く、販売は低調に推移

製品カテゴリー別売上高

[百万円]

	FY20 調整後前期 1Q累計	FY21 当期 1Q累計	増減	増減率
クレベリン	2,730	1,960	△769	△28.2%
クレベ&アンド	573	408	△164	△28.8%
計	3,303	2,368	△934	△28.3%

クレベリン



Akihiro Yoshida

クレベリン 置き型

クレベリン スプレー



DENSO

クレベリンカートリッジ
(車両用)



Akihiro Yoshida

クレベリン スティック

対象顧客別売上高

[百万円]

	FY20 調整後前期 1Q累計	構成比	FY21 当期 1Q累計	構成比	増減	増減率
国内:一般用	2,668	80.8%	1,806	76.3%	△861	△32.3%
国内:業務用	451	13.7%	478	20.2%	26	5.9%
海外	183	5.6%	83	3.5%	△99	△54.3%
計	3,303	100.0%	2,368	100.0%	△934	△28.3%

クレベ&アンド



ハンドスプレー ハンドジェル

ウイルス・菌除去
スプレー
(キッチン用)

今後の見通し

医薬品事業

- 外出自粛やインバウンド需要消失によるマイナス影響は継続
- 厳しい市場環境ではあるものの、現時点では概ね計画通りの進捗
- 第2四半期以降も概ね計画通り進捗する見通し

感染管理事業

- 第1四半期における感染管理事業の売上は計画を下回る進捗
- 感染症再拡大による除菌関連市場の需要動向は不透明
- 新型コロナウイルス(変異株含む)に対する二酸化塩素の有効性データ取得や新製品の拡販、新規販売チャネルへの注力を急ぐ方針

- 新型コロナウイルスの感染者数増加により3回目の緊急事態宣言が各地域で発令される等、**事業環境は不透明な状況**
- **第1四半期時点での業績進捗は計画を下回る**ものの、今後の営業・マーケティング施策やコスト削減等によって計画達成を目指す
- 現時点では連結業績予想を据え置き、今後適宜検討



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証するものではありません。